

川・街エクスプレス

◆目次◆

会長あいさつ	1
クリーン作戦に参加して	2
親と子の市内まるごとクリーン作戦に参加して	3
「親と子の市内まるごとクリーン作戦PART 2川辺の清掃」実績	
ホットニュース	4



クリーン作戦は、親と子が気軽に楽しく参加できるイベントです。

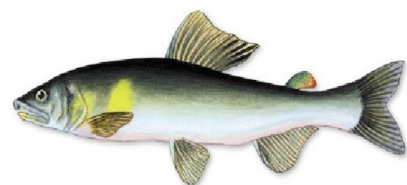
《会長あいさつ》

志木市川と街をきれいにする運動推進協議会 会長 星野博之

「親と子の市内まるごとクリーン作戦PART 2 川辺の清掃」に多くの皆様に参加していただき、無事終わることができました。大変ありがとうございました。当日の挨拶でもお話ししましたが、広報しき7月号に、「わたしの里川柳瀬川」という記事がありました。「里川」とは、手つかずの自然の中で環境が保たれている川ではなく、人が適正に関与することにより、生活に身近な川でありながら自然環境が守られ、人々に親しまれている川のことです。

志木市も、「荒川」、「新河岸川」及び「柳瀬川」の3本の川が流れ、以前は生活雑排水、不法投棄等で大変汚れた川でした。しかし、下水道の整備や、我々ボランティアの清掃活動によるごみの収集、さらには環境意識の高まりにより不法投棄も少なくなり、清流にもどりつつあります。

中でも、柳瀬川には、清流の女王と呼ばれるアユも見られる様になっており、皆様の手で、里山に発して里地を流れる、「里川」を作ることが出来ているものと実感しております。



今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

○クリーン作戦に参加して

志木中学校 一年五組 大津瑞喜

僕は、クリーン作戦に初めて参加し、いろんなことを感じたり、気づいたりしました。

一つ目は、思っていた以上にゴミがあることがわかりました。自分たちにとって身近な場所なのに、とても汚くてがっかりしました。また、ゴミの種類も小さいゴミからわざと捨てたのではないかと思うぐらいの大きなゴミまで見つかったので、とてもショックでした。

二つ目は、参加している人の多さです。たくさんの人が参加していて、志木市をきれいで住みやすい環境にしようとしている人がこんなにも多いとは思わなくて、とても感動しました。僕は、初めて参加しましたが、来年からもしっかりと来ようと思いました。

いつも部活の練習で使っている場所なので、ゴミを見つけたら拾いたいです。そして、志木市をきれいにするために、友達をさそってもっと参加者を増やしていきたいなと参加してみても感じました。これからは志木市のためにいろんなことに参加していきたいです。

志木中学校 二年一組 小林 溪人

僕は、毎日柳瀬川の土手を歩いて通学しています。柳瀬川は、春になると桜が咲き、川を見ると、水がすき通っていて、魚がいるのが見られます。毎日歩いて見慣れている場所でも、クリーン作戦をすると、たくさんのごみが出てきます。タバコの吸いがらや、ビニール袋、大量の綿、自転車の部品などの大きなものも出てきました。富士見橋には、集まったごみが大量にありました。

僕は、半年の間にこんなにたくさんのごみが捨てられていたことに、とても驚きました。

柳瀬川は、釣りや花見などを楽しむ、憩いの場となっています。今のきれいな柳瀬川を守るためには、一人ひとりがゴミを捨てない努力をすることが必要だと思いました。

志木中学校 二年二組 大下 凜太郎

市内まるごとクリーン作戦で、僕はたくさんのごみを拾いました。たくさんのごみとは、ペットボトルやお菓子の袋、中にはタイヤ、ラジカセなどもあり、とてもおどろきました。そして、想像していた以上の大量のごみが集まりました。

僕は、クリーン作戦を通して思ったことが2つあります。まず、1つ目はこのクリーン作戦に参加していた人数の多さです。志木市民である人達が協力してきれいにするという光景をみて、とてもうれしく思いました。しかし、裏を返せばゴミを勝手に捨てる人が志木市にいるということがわかりました。2つ目は、ゴミを拾うということで、日々の生活を送らせてもらっている志木市にお礼をすることができてとても心がスッキリしました。

僕はクリーン作戦で分かったこと、思ったことなどを日々の生活へと活かしていきたいです。また、いつもお世話になっている志木市へ感謝を忘れないようにしたいです。

親と子の市内まるごとクリーン作戦に参加して

志木市役所 柳瀬川駅前出張所 谷岡 瞳

私は、クリーン作戦を通して改めて街を綺麗にする事の大切さと、この市民協働事業が、「市民力」の発揮された素晴らしいものであることを実感しました。参加者同士の交流の場としても機能し、志木市が誇れる活動であると改めて肌で感じました。

当日は休日ということもあり、市役所会場には、子どもからお年寄りまで大勢の方々が参加されていました。私は、会場から富士下橋へ向かうコースを選択し、ゴミ袋と軍手を手に、清掃活動を開始しました。住宅街では比較的目立ったごみは少なかったものの、土手を進んでいくにつれごみの量が増え、タバコの吸い殻や菓子袋などを拾う作業を繰り返していくうちに、「なぜこんなにも、ごみが落ちているのだろう」と、悲しい気持ちが溢れてきました。

さらに、河川敷に降りてみると一層多くのごみが見受けられ、空き缶やペットボトル、毛布や何かの部品と思われるもの、さらには電化製品までもが寂しげに放置されていました。特に多くのごみを発見した場所には草が繁茂しており、まるで草むらの中に隠して投棄されているように見え、腹立たしく感じました。ごみは比較的まとまった状態で見受けられ、一つのごみが投棄されていると、「此処なら大丈夫」と他の人も同じように投棄していき、結果的にその場所に多く溜まってしまったものだと思います。

私は、一日を終えて、街をもっと綺麗にしたいという気持ちが強まるとともに、誰か一人がごみを投棄し始めると、その真似をして投棄する人が現れるという悪循環を生み出さない「まちづくり」が大事なのだと思い知らされました。

市民一人ひとりの環境意識の向上のためにも、清掃活動は大切であり、「川や街にはごみを捨てさせない」という意志のもと、今後もクリーン作戦に積極的に参加していこうと思っています。

「親と子の市内まるごとクリーン作戦PART2川辺の清掃」実績

○参加者集計

	大人	子ども	計
新河岸川（市役所）	403人	60人	463人
柳瀬川（富士見橋）	126人	168人	294人
柳瀬川（志木大橋）	140人	30人	170人
合計	669人	258人	927人

○回収したごみの量

可燃ごみ	600kg
ビン・缶・粗大ごみ	260Kg
合計	860kg



回収されたごみ（志木大橋会場）

○秋の活動参加者の推移

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
632人	中止	753人	中止	1,010人	887人	927人

※平成23年度と平成25年度は台風の影響等により中止。



ホットニュース



1 移植した白色彼岸花が咲きました！

前号（第35号）のホットニュースで、白色彼岸花の移植についてお知らせをしましたが、おかげさまで9月に開花しました。

これにより、左岸・右岸・中洲のそれぞれのゾーンで、季節ごとの花が楽しめるようになり、川辺ならではの四季折々の季節感が楽しめるようになりました。

毎年、白色彼岸花が咲く季節が楽しみになります。



2 荒川河川敷不法投棄物一斉撤去

11月12日（土）に行われた朝霞市・志木市・和光市地区荒川クリーン協議会主催の荒川河川敷不法投棄物一斉撤去作業に当協議会も協力団体として参加しました。

当日は、前日の雨により、足元が悪いにも関わらず、たくさんの方々が参加され、無事に終わることができました。

今後とも、荒川河川敷の環境保全を目的とした活動に引き続き協力をしていきます。



いろは親水公園中洲ゾーン（9月下旬撮影）

○参加者の内訳

一般	90人
志木市体育協会	112人
職員	13人
合計	215人

「親と子の市内まるごとクリーン作戦PART2川辺の清掃」に参加をいただいた各種団体・各町内会のみなさんをはじめ、ゴミ袋を提供していただきました志木市コミュニティ協議会様、啓発物資を提供していただきました（公社）朝霞法人会様、堆肥を提供していただきました大村商事株式会社様、清涼飲料水の提供をしていただきましたコカ・コーライーストジャパン株式会社様、また、新河岸川会場で素敵な演奏をしていただいた埼玉県南西部音楽隊様、ナチュラルミネラルウォーター志木の恵水「水輝（みずき）」を提供していただいた志木市上下水道部水道施設課様、そして、当会の活動に対して寄付をいただきました株式会社丸井様、誠にありがとうございました。

【編集後記】

秋晴れの穏やかな天気のもと川辺の清掃作業が行われました。会場となった市役所、富士見橋、志木大橋には、今年も大勢の方が集まり、たくさんのごみが回収されました。ありがとうございました。

川・街エクスプレスは、毎号、参加された皆様から原稿をいただいて作成しています。編集をしている中でいつも感じることがあります。それは、身勝手にごみを捨てる人がいる中で、そのような行為を決して許さず、跳ね返すような大きなパワーを持って参加した皆様の思いやりと優しさです。これからも皆様のご協力をお願いします。

事務局 坂本勝成

【編集・発行】

志木市川と街をきれいにする運動推進協議会

【事務局】

志木市役所 市民生活部 環境推進課

住所

〒353-8501 志木市中宗岡1丁目1番1号

電話 048-473-1111(内)2315

FAX 048-474-7009

Email:kankyoku@city.shiki.lg.jp